

くしろ



写真上:平成30年度釧路中西部指導農業士・農業士会総会にて
写真左:ニューマイスターと語る会（主催:管内指導農業士・農業士会）で農場視察を受け入れ、説明する佐藤農業士（右下）と出席者（平成29年10月）。

釧路中西部指導農業士・農業士会

釧路市、鶴居村及び白糠町の指導農業士7名、農業士11名で構成する当会（平成31年4月1日現在）は、実習生の受け入れによる担い手育成など、各種活動をとおして地域農業の発展に尽力しています。また、釧路管内指導農業士・農業士会の活動にも携わり、管内農業の盛り上がりにも一役買っています。

当会はベテランと若手の力が融合しており、その活動は釧路農業のけん引役として存在感が増しています。

	所在地	電話・FAX	Eメールアドレス
釧路農業改良普及センター本所	〒088-2313 川上郡標茶町常盤8丁目5番地	Tel:015-485-2514 Fax:015-485-2249	kusirokita-nokai.11 @pref.hokkaido.lg.jp
釧路東部支所	〒088-1365 厚岸郡浜中町茶内橋北東31番地	Tel:0153-65-2021 Fax:0153-65-2037	kushiroto-nokai.11 @pref.hokkaido.lg.jp
釧路中西部支所	〒084-0917 釧路市大楽毛127番地	Tel:0154-57-8306 Fax:0154-57-4702	kushirochu-nokai.11 @pref.hokkaido.lg.jp

ホームページアドレス: <http://www.kushiro.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/index.htm>

重点活動の紹介（本所）

乾乳期の過肥予防で、受胎率向上

弟子屈町重点地域では、平成29年まで植生改善に取り組みました。植生マップと草地評価を活用した計画的な草地更新を行なうことで、良質粗飼料が生産可能になり、経済的なプラス効果を生むことを示しました。

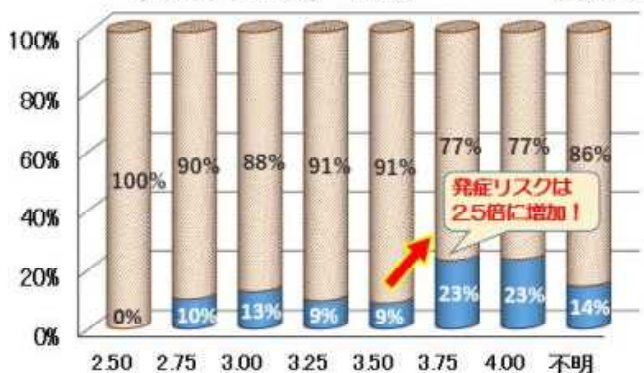
平成30年から、この粗飼料基盤をもとに繁殖成績の改善を目的として牛のボディコンディションスコア（以下BCS）調査の取り組みを開始しました。

地域内385頭の周産期BCSデータと、道東NOSAIの疾病データを突き合わせたとこ



BCS調査の様子

乾乳・分娩期におけるBCS別周産期疾病の発生状況 (2017.12～2018.11) n=385



泌乳後期～乾乳期のBCSと周産期病の発生状況

ろ、BCSが3.75以上のいわゆる「過肥」に該当する牛の周産期疾病発症率が、標準的なBCS（3.0～3.5）の牛より2.5倍も高くなっていることが明らかになりました。

分娩後の周産期疾病の発症は、その後の受胎に大きく影響します。泌乳後期から乾乳期の過肥を予防することで、周産期疾病発症リスク低減と、早期受胎に向け、地域の関係機関と連携しながら、繁殖成績の改善に取り組んでいます。

地域の話（東部支所）

自分たちの目指す酪農に向けて

厚岸町、浜中町の若手農業者で組織する酪匠HBCでは、勉強会や視察を活発に行っています。2月には、クミカンの見方や投資の判断について、北支所長を講師に勉強会を行いました。参加した会員からは、「少し内容が難しかったが、経営移譲されれば直面する課題なんだよな。」などの声が聞かれました。



経営管理の勉強会を熱心に受講する会員



(株) GATTEN（別海町）にて牛群管理を視察

3月には、搾乳ロボットを導入した会員の要望で別海町の牧場を視察し、ロボット利用の飼養管理を研修してきました。

経営に活かされる事を期待します。

後産引っ張って落とす？ 放置する？

なかなか落ちない後産（写真1）は「引っ張って落とす」、「自然に落ちるまで放置する」と人によって処置が異なることがあります。今回は、どちらの対処方法が良いのかについて、白糠町4Hクラブがプロジェクト活動で調査した結果を紹介します。



写真1 後産停滞の牛

後産停滞の定義は様々だが、一般的には12時間以内に後産が落ちない状態をいう

① 調査方法

調査方法は、クラブ員が分娩後の牛の状況を記録し、「後産を手で引っ張って取れそうだったら引っ張った牛（写真2）」と「そのまま様子をみた牛」の初回授精日数、空胎日数および繁殖に関わる治療費を比較しました。



写真2 後産を引っ張った様子

後産を引っ張る力加減は、重さにすると1～2kg（500mLペットボトル2・3本分）

② 調査結果と考察

記録を集計した結果、「後産を手で引っ張った牛」の方が、初回授精日数、空胎日数ともに短縮し、治療費も減少することがわかりました。

これは、後産を手で引っ張って落とした方が、子宮の回復が早く、繁殖成績も良くなったためと考えられました。

	引っ張る	放置
初回授精日数	78	87
空胎日数	115	143
治療費(円/頭)	28,943	35,331

※ A農場の各10頭の平均値を比較
治療費はNOSAIの繁殖カルテより

※子宮を傷つけてしまう可能性があるため、無理やり引っ張ってはいけません。

③ 後産停滞の原因

後産停滞の多かったA農場と少なかったB農場を比較すると、A農場の乾乳牛が過密であったことがわかりました（写真3）。このことから、後産停滞の原因の一つとして過密によるストレスが考えられました。



写真3 後産停滞の多かったA農場の乾乳牛群

後産停滞の原因の1つは、過密によるストレス!?

～参考となるポイント～

○今回の調査では、後産は引っ張って落とした方が繁殖成績は良くなり、治療費も抑えられることがわかった。ただし、後産は無理やり引っ張ってはいけない。



白糠町4Hクラブは今回の調査結果を全道青年農業者会議で発表し、優秀賞を受賞しました。現在は初産分娩月齢の短縮に向けた活動を行っています。

これからも白糠町4Hクラブは精力的に活動していきます！

令和元年度（2019年度）普及センターの職員紹介

平成31年4月1日現在



▶ 本所地域係

後列左より：椿、植月、高倉、菊池、加東
前列左より：田川、五十嵐、吉川、濱本



▶ 東部支所地域係

後列左より：森、池田、後藤
前列左より：小川(小)、北、鎌田



▶ 中西部支所地域係

後列左より：喜多村、高橋、加藤、川村、成田
前列左より：山崎、沖田、志鎌、沓澤、丹羽



▶ 本所広域担当

後列左より：田川、樋口、山田、坂本
前列左より：小川(邦)、鈴木、市川

鈴木 所長	本所	五十嵐次長	標茶町 釧路町 弟子屈町	吉川 地域係長 濱本 主査(地域支援) 田川 主査(畑作)	高倉 専門主任 植月 専門普及指導員 椿 普及職員	菊池 普及職員 加東 普及職員
	東部支所	北支所長	浜中町 厚岸町	小川(小) 地域係長 鎌田 専門主任 森 専門普及指導員	後藤 普及職員 池田 普及職員	
	中西部支所	志鎌支所長	釧路市 白糠町 鶴居村	沖田 地域係長 沓澤 主査(地域支援) 山崎 専門主任	丹羽 専門主任 加藤 専門普及指導員 川村 普及指導員	高橋 普及指導員 成田 普及職員 喜多村 普及職員
	広域	小川(邦)※ 主任普及指導員	担い手 高付加価値化	山田 主査 樋口 主査		
	市川※ 主任普及指導員	情報・ｸﾞｰﾝ・有機 広域専門(畑作)	坂本 主査 田川 主査			

(※印は、農業革新支援専門員)

牧草の収穫作業が始まりました。農作業事故に注意して作業を行いましょう！